

平成 13 年 11 月 22 日

各 位

会社名 アヲハタ株式会社  
代表者名 取締役社長 清水 優  
(コード番号 2830 東証第二部)  
問合せ先 取締役管理本部長  
兼経理部長 若井 雄次  
(TEL. 0846-26-0111)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13 年 6 月 26 日の中間決算発表時に公表した平成 13 年 10 月期(平成 12 年 11 月 1 日~平成 13 年 10 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

1. 当期の業績予想数値の修正(平成 12 年 11 月 1 日~平成 13 年 10 月 31 日)

(1) 連結

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	21,300	940	440
今回修正予想(B)	21,400	820	380
増減額(B-A)	100	120	60
増減率(%)	0.5	12.8	13.6
(ご参考) 前期実績(平成 12 年 10 月期)	20,646	927	98

(金額の単位:百万円)

(2) 単独

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	17,800	710	330
今回修正予想(B)	17,686	618	292
増減額(B-A)	114	92	38
増減率(%)	0.6	13.0	11.5
(ご参考) 前期実績(平成 12 年 10 月期)	17,317	700	23

(金額の単位:百万円)

## 2. 修正の理由

当期は、米国経済の減速、リストラの進展に伴う雇用不安、同時多発テロの発生などにより景気後退感が一層強まり、食品業界におきましては、外食産業の値下げ競争に端を発する低価格志向が全体に広がり、熾烈な価格競争が展開されました。

このような状況のなかで連結では、売上高につきましては、子会社である株式会社アヲハタエフエムサプライが販売するフルーツ加工品の売上増等により、当初の予想を上回る見込みですが、経常利益、当期純利益につきましては、パスタソース類において缶詰から低価格のレトルトパウチ詰へ急激にシフトするなかで、当期中にはコスト対応が追いつかず当初の利益確保ができなかったこと、フルーツ・プレパレーションの受注が当初予想を下回ったことなどにより、当初の業績予想を下回る見込みです。

単独では、連結決算と同じ理由により売上高、経常利益、当期純利益とも当初の業績予想を下回る見込みです。

このため、当期の連結および単独の業績予想を修正いたします。

以 上